

官報

號外

明治二十九年三月二十日

金曜日 內閣官報局

第九回貴族院議事速記録第三十九號

帝國議會 明治二十九年三月十九日(木曜日)午前十時五十四分開議

議事日程 第三十九號 明治二十九年三月十九日

午前十時開議

- | | | |
|-----|---|-----------------|
| 第一 | 開港外ニ於テ外國貿易ノ爲メ船舶出入及貨物輸出入ノ件ニ關スル法律案(政府提出衆議院送付) | 第一讀會ノ續(特別委員長報告) |
| 第二 | 神奈川縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) | 第一讀會ノ續(特別委員長報告) |
| 第三 | 長崎縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) | 第一讀會ノ續(特別委員長報告) |
| 第四 | 新潟縣下郡界變更及郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) | 第一讀會ノ續(特別委員長報告) |
| 第五 | 山口縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) | 第一讀會ノ續(特別委員長報告) |
| 第六 | 和歌山縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) | 第一讀會ノ續(特別委員長報告) |
| 第七 | 福岡縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) | 第一讀會ノ續(特別委員長報告) |
| 第八 | 佐賀縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) | 第一讀會ノ續(特別委員長報告) |
| 第九 | 宮崎縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) | 第一讀會ノ續(特別委員長報告) |
| 第十 | 銀行合併法案(政府提出衆議院送付) | 第一讀會 |
| 第十一 | 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第十二 | 移民保護法案(政府提出衆議院送付) | 第一讀會 |
| 第十三 | 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第十四 | 靜岡縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) | 第一讀會 |
| 第十五 | 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第十六 | 岐阜縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出衆議院送付) | 第一讀會 |
| 第十七 | 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第十八 | 愛媛縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) | 第一讀會 |
| 第十九 | 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第二十 | 水産業保護ニ關スル建議案(村田保君發議) | 會 議 |

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 昨十八日本院ニ於テ可決ニ爲リマシタル衆議院廻付獸疫豫防法案ハ昨日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奉請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知致シマシテゴザイマス、同日本院ニ於テ可決ニ爲リマシタル復祿及復族祿ノ請願、地價修正ノ請願、山陽鐵道延長ノ請願、排水器試驗所設置ノ請願、軍港及商港設置ノ請願、電話施設普及ノ請願、郡分合ニ關スル請願ハ意見書ヲ附シテ昨日政府ニ送付致シマシテゴザイマス、同日衆議院ヨリ政府提出、船舶検査法案及海員懲戒法案ヲ可決奏上シタル旨ノ通牒ヲ受領致シテゴザイマス、日本勸業銀行法案外二件特別委員會ニ於キマシテ委員長ニ伯爵松浦詮君、副委員長ニ伯爵正親町實正君、河川法案特別委員會ニ於キマシテ委員長ニ伯爵大原重朝君、副委員長ニ藤村紫朗君、民法中修正案特別委員會ニ於キマシテ委員長ニ侯爵黑田長成君、副委員長ニ箕作麟祥君、富山縣下郡分離及廢置法律案外八件特別委員會ニ於キマシテ委員長ニ船越衛君、副委員長ニ林宗右衛門君、事業公債條例特別委員會ニ於キマシテ委員長ニ黑田長成君、副委員長ニ加藤弘之君、大阪府下郡廢置法律案外八件特別委員會ニ於キマシテ委員長ニ子爵林友幸君、副委員長ニ根岸武香君當選ニナリマシテゴザイマス

○伯爵大原重朝君 河川法案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ退席致シテ宜シウゴザイマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今ハ定足數ニ差支ヘマスカラ暫ク御待ヲ請ヒマス、本日ノ議事日程第一、開港外ニ於テ外國貿易ノ爲メ船舶出入及貨物輸出入ノ件ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告

(伯爵清棲家教君演壇ニ登ル)

○伯爵清棲家教君 委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告ニ及ビマス、委員會ハ一日開キマシテ委員ヨリ一二ノ質問ガゴザイマシタ、ソレハ勅令決定ムル所ノ箇所ハ幾箇所アルカト云フ事デゴザイマシタガ政府委員ノ答辯ハ六箇所有ルト云フコトデゴザイマス、ソレカラ其場所ハ何レデアルカト云フ事デゴザイマシタガ、ソレハ今日調査中デアルカラシテ明言ヲスルコトハ出來惡イト云フコトデゴザイマシタ、ソレカラ此法律ノ第三條ニゴザイマスル六箇月

前二勅令ヲ以テ之ヲ公布スルコト云フ事デゴザイマスガ是ハ餘リ六箇月ハ期限ガ短イデハナイカト云フコトデゴザイマスガ是モ政府委員ノ答辯ハ特別輸出港ガ總テ斯ノ如クナツテ居ルカラシテ之ニ於テ差支ナイト云フ趣ノ答デゴザイマス、其他委員會ニ於キマシテハ何等ノ異論モゴザイマセズ、滿場總テ多數ヲ以チマシテ可決スベキモノト議シ致シマシテゴザイマスカラ、ドウカ滿場諸君ニ於キマシテモ御贊同ノ程ヲ願ヒマス、尙ホ諸君モ御承知ノ如ク此案ハ極ク簡單ナモンデゴザイマスカラシテ議會ノ順序ヲ省略シテ議決アラソコトヲ願ヒマス

○山田卓介君 議會省略ニ贊成

○子爵小笠原壽長君 議會省略ニ贊成

○男爵中川與長君 議會省略ニ贊成

○柴原和君 贊成

○子爵本莊壽巨君 贊成

○佐藤清左衛門君 贊成

○秋田映季君 贊成

○伯爵一柳末德君 贊成

○關田可通君 贊成

○飯淵七三郎君 贊成

○金澤松右衛門君 贊成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 清棲伯爵ヨリ議會省略ノ動議ガ出マシテ定期ノ贊成ガゴザイマス、……動議デハゴザイマセヌ、請求デゴザイマス、議會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 三分ノ二以上ノ多數ト認メマス、議會ハ省略ニ爲リマシタ

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

開港外ニ於テ外國貿易ノ爲メ船舶出入及貨物輸出入ノ件ニ關スル法律案

第一條 開港外ニ於テ外國貿易ノ爲メ帝國臣民所有ノ船舶ノ出入及貨物ノ輸出入ヲ爲スヘキ港ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 前條船舶ノ出入及貨物ノ輸出入ニ關シテハ稅關法及稅關規則ヲ適用ス

第三條 第一條ニ依リ船舶ノ出入及貨物ノ輸出入ヲ爲ス港ヲ閉鎖スルトキハ六箇月前ニ勅令ヲ以テ之ヲ公布ス

第四條 本法ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ神奈川縣下郡廢置法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續ヲ開キマス、此郡廢置法律案ハ數デゴザイマスルニ依リテ特別委員長ノ報告ハ總テ約メテ報告ニナツテモ宜シト思フノデ而シテ問題ヲ別ニ一々採ルコトニ致シマス、特別委員長報告

(安場保和君演壇ニ登ル)

○安場保和君 神奈川縣下郡廢置法律案外七件ノ委員會ノ結果ヲ御報道ニ及ビマス、是ハ委員ニ於キマシテ此法案ヲ受取リマシテ兩度ノ委員會ヲ開キマシテツレノ審議ヲ遂ゲマシテゴザイマス、此案ハ總テ實ニ簡單ナル法律デ唯郡ノ併合ニ就キマシテ行政ノ便否且ツ古來ノ慣習ノ有無又自ラ自治團體ノ實力ノ有無等ノ數要件ニ就キマシテツレノ政府委員ニ向ッテ先ヅ委員會デハ十分ヲ盡シテ質問モ致シタ積デアリマスガ、總テ神奈川縣外六件ニ於キマシテハ原案ノ通デ宜シイト云フ委員會ノ全會一致ア可決ヲ致シマシテ御報道ニ及ンダ通デゴザイマシテ、外ニ是ゾト申シテ御參考ニ爲ルベキダケノ事ヲ御報道致スダケノ廉ハナカッタヤウニ思ヒマス、尤モ神奈川縣外七件縣中ニ福岡縣ノ數郡合併ノ中ニ就キマシテ名稱、御井、御原、山本ノ三郡ヲ合セマシテ三井郡ヲ置クト云フ方ノ一項ガドウモ此古來ノ歴史ニ照シマシテ三井ト云フ三井郡ト稱ヘルノデハドウモ古來ノ舊稱ニ違フカラ矢張「御」ノ字ヲ用ヒテ御井郡ト稱ヘタ方ガ適當致スト云フ論ガ起リマシテ其論ガ多數ヲ占メマシテ即チ御報道ニ及ビマス通ニ「三」ノ字ヲ「御」ノ字ニ改メマシテ矢張國音ノ稱ヘハ御井郡ト稱ヘルコトニ決定致シマシタ、其外ニ何ゾ御參考ニ爲ルト記應致スダケノ議論モゴザイマセヌニ依ッテ此段御報告ニ及ビマス、速ニ御贊成アラソコトヲ希望致シマス

○瀧口吉良君 唯今委員長カラ此神奈川縣外七件ノ郡廢置法律案ニ就キマシテ東ネテ御報告ガゴザイマシタガ、ソコデ私ハ此日程ノ第二カラ第九マデ東ネテ一ツ議會省略ノ要求ヲ致シタウゴザイマス、一々此議會省略ノコトヲ起立ニ御諮ヒニナリマスルノハ餘程煩デアラウト思ヒマス、其煩ヲ避ケルタメニ議會省略ノコトモ東ネテ議場ニ御諮ヒ下サレテツレカラ本案ノ可否ニ就キマシテハ一々御諮ヒニナルヤウニ願ヒマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 其唯今ノ議會省略ノコトハ一々其問題ニ供シマシタ時分ニ御提出ニナルヤウニ致シタイト存ジマス、東ネテト云フコトハドウモ出來マセヌ、唯今ハ神奈川縣下郡廢置法律案ノ第一讀會ヲ開キツ、アルノデゴザイマス、順序ニ決ヲ採ラナケレバナラヌノデゴザイマスカラ之ヲ一時ニ議會ヲ省略スルコトハ出來ヌト存ジマス

○瀧口吉良君 慣例ガ或ハ許サヌト云フコトデゴザイマスレバ致シ方ガゴザイマセスカラ神奈川縣ダケノコトニ就イテ讀會省略ノ動議ヲ提出致シマス

○安場保和君 賛成

○角田林兵衛君 賛成

○山田卓介君 賛成

○男爵榎村正直君 賛成

○關田可通君 賛成

○佐藤清右衛門君 賛成

○小林小太郎君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○子爵堤功長君 賛成

○子爵大原重朝君 賛成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 瀧口君ヨリ讀會省略ノ請求ガゴザイマシテ定規ノ賛成ガゴザイマス、讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略ニ爲リマシマス

(左ノ議案ハ期讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下ニ載録ス以下)

神奈川縣相模國大住郡及海老原郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ中郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ長崎縣下郡廢置法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續ヲ開キマス、是ハ以前モ申述ベマシタ通、既ニ特別委員長ガ約メテ報告ニナラテ居リマスカラ再ヒ報告ハナイ事ニ爲リマス

○瀧口吉良君 是モ讀會省略ヲ請求致シマス

○角田林兵衛君 賛成

○關田可通君 賛成

○安場保和君 賛成

○金澤松右衛門君 賛成

○佐藤清右衛門君 賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○子爵秋田映季君 賛成

○男爵榎村正直君 賛成

○子爵伏原宣尼君 賛成

○子爵長谷信篤君 賛成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 瀧口君ヨリ讀會省略ノ請求ガゴザイマシテ定規ノ賛成ガゴザイマス、讀會省略ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 三分ノ二以上デゴザイマス

○安場保和君 此唯今瀧口君ヨリ請求ニナラテ規則ニ依ッテ御允可ニナリマセヌデゴザイマスガ再ヒ意見ヲ述ベマスルノハ如何カト存ジマスケレドモ此郡廢置法案ノ如キハ隨分此今日デスラ外ニマダ六件許リ殘リガ有リマス、一讀會省略ノ可否ヲ御諮ヒニナルト云フコトハ隨分面倒デ形式上ハ誠ニ結構デアリマスガ、今日ノ最早議會ノ期日モ切迫ノ時ニハ少シク不適當カト存ジマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) サウスルト福岡縣ハ讀會省略デスカ

○安場保和君 讀會省略ヲ束ネテスルト云フコトヲ此席ダケ御諮リニナラテ御許シニナラテハ如何デゴザイマス、是マデ例モ無イカモ知レマセヌガ、斯ウ云フ事ハ將來ニハ續々有ル事ダラウト存ジマスカラ御可否ハ議長ノ恩召ニ……

○森山茂君 賛成

○村田保君 本員モ賛成致シマス、何モ議員一同ガ皆ソレデ宜イト認メマスレバ宜イコトデ、若シ議長御一己デ御定メニナリ兼ネマスナラ議院ニ御諮リヲ願ヒタイ

○伯爵小笠原忠忱君 安場君ニ賛成デアリマスガ修正ノ有ルダケヲ省イテ、アト讀會省略ニ爲ルヤウニ致シタウゴザイマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 別ニ反對ノ御意見モゴザイマセヌカラ唯今安場君ノ段々ノ御演說ガアリマシタカラ、ソレヲ容レルコトニ致シマス、併シナガラ修正ノ有リマス福岡縣下郡廢置法律案ノ如キハ何分讀會省略ト云フ譯ニハ參ラヌト思ヒマス、ソレ故ニ唯今長崎縣ノ郡廢置法律案ガ讀會省略ニ爲リマシタラ其決ヲ採リ後ノ三ツヲ合セテ動議ガ出レバ採ルコトニ致シマス

○箕作麟祥君 唯今ノ議長ノ御宣告ニ就イテ決シテ何モ抗論ヲスルノデモ何デモアリマセヌガ、此福岡縣ノ修正ガ有ルト云フ仰セデアリマスガ、成程修正ハ有リマスガ唯一字デ三井郡ノ「三」ノ字ヲ「御」ノ字ニ直シタダケデ是ハ修正ト言ヘバ言フヤウナモノ、誠ニ僅ナ文字ヲ一字直シタノデアルカラ其タメニ此一ツノ議案ヲ例外ニスル程ノ必要ハナイダラウト思ヒマス、安場君

ノ御説ノ通、讀會省略ガ宜シト考ヘマス
○村田保君 賛成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 修正ノ決ハ第二讀會ニ移ッテ採ルノガ今マデノ
例アリマス、若シ僅ナ修正デアルカラ讀會省略ガ宜シト云フト僅ナト云
フ區域ガ甚ダムツカシイ、後ノ例ニモ爲リマスカラ、ドウモ本席ニ於テ疑フ
テ居リマス

(「御尤」至極御尤「ト呼フ者アリ」)

第二讀會テ修正ハ可否ヲ決スルノデゴザイマスカラソレヲ讀會省略ト云フコ
トハ出來ヌト考ヘマス

(「御尤」ト呼フ者アリ)

長崎縣壹岐國壹岐郡及石田郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ壹岐郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、新瀨縣下郡界變更及郡廢置
法律案、山口縣下郡廢置法律案、和歌山縣下郡廢置法律案、此三ツヲ合セテ
第一讀會ノ續ヲ開キマス

○瀧口吉良君 三ツトモ讀會省略ノ建議ヲ致シマス

○男爵渡邊清君 賛成

○山田卓介君 賛成

○佐藤清右衛門君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○武井守正君 賛成

○男爵榎村正直君 賛成

○子爵秋田映季君 賛成

○金澤松右衛門君 賛成

(其他「賛成」ト呼フ者多シ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 瀧口君ノ讀會省略ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマ
ス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會省略ニ相成リマ
シタ

新瀨縣下郡界變更及郡廢置法律案

新瀨縣越後國三島郡ノ一部(間瀬村)ヲ同縣同國西蒲原郡ニ編入ス

新瀨縣佐渡國雜太郡、加茂郡及羽茂郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ佐渡郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

山口縣下郡廢置法律案

山口縣長門國阿武郡及見島郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ阿武郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

和歌山縣下郡廢置法律案

和歌山縣紀伊國名草郡及海部郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ海草郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 即チ唯今問題ニ供シマシタ新瀨縣山口縣和歌山
縣ノ三ツノ郡廢置法律案、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ福岡縣下郡廢置法律
案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續ヲ開キマス

○政府委員(木内重四郎君) 此福岡縣ノハ他ノ修正ハ有リマセヌデ唯「三井
郡」トアルヲ「御井郡」ト改メタダケノ修正デ、唯文字ノ一字違フダケデア
リマスカラ異論ハ申シマセヌガ「三井郡」ト云フノハ決シテ據所ガ無いノデ
ハナイ、ドチラニシテモ差支ナイノデアリマスガ往時ノ書籍ニハ「三井」ト
アリマスカラ古イ文字ニ據ッタノデ、此方ガ却テ雅ニナラウト思ヒマス、御
井郡ト云フノハ現在御井郡ト云フノガ有ルニ其文字ヲ其儘用ヒルノハ往カ
ヌト云フ心配モアルノデアリマス、尤モ鹿毛君ハ左様ナ氣遣ハナイト云フコ
トデアリマシタケレドモツレハ鹿毛君一個ノ御説ヂヤラウト政府デハ認メデ
居リマス、而シテ唯文字一字ノ修正ノタメニ殊更ニ衆議院ニ廻付ラシテヤル
ト云フ手續ヲ執リマシテ居ルトキニハ會期切迫ノ今日ニ於テ或ハ此法律案ガ
兩院ヲ通過セヌト云フ心配モナイデハナイ、旁々原案ノ儘御賛成アラント
ヲ希望致シマス

○安場保和君 唯今政府委員ノ修正案ヲ辯明サレマシタニ就キマシテハ委員
會ノ景況ニ就イテ少シ辯シ置カネバ滿場ノ疑惑ヲ生ジマセウト考ヘマスカラ
已ムヲ得ズ一言ヲ述ベテ置キマスガ唯今政府委員カラ述ベラル、所モ成程三
井ト云フ文字ヲ下シタノハ中古ノ所ニ三井ト云フコトヲ書イタ地誌杯ニモ
載ッテ居ル、併シハ古學者ガ地誌ヲ調べル時分ニ段々研究シテ見ルト矢張御
ノ字ヲ書イタ方ガ古イ、決シテ此御ノ字ヲ書イタノガ新シクッテ三ノ字ヲ書イ

タノガ古イトハ申サレヌノデ、此事ハ其地方ニ取リマシテハ却ッテ輿論ニナッテ居ルヤウデス、ソレ故土地ノ形況ヲ能ク承知シテ居ル或委員ノ一人ヨリ其説ガ出マシテ委員ノ多數ヲ得マシタ、本員等ニ於キマシテハ御ノ字デモ三ノ字デモ格別人心ニ關係ハ左マデアルマイト存ジマスケレドモ矢張此名稱ハ古キニ據ル現行ノ町村制郡制等ノ精神ニ立上ボリマシテモ三郡ヲ合セテ一郡トスル名稱ニ於テハ些細ノ事デモ隨分人心ニ關係ヲ持ツモノデアリマスレバ土地ノ狀況ニ能ク練達シタ人ノ説ト其地方ニ依ッテ起ル所ノ歴史ニ據ッテ最モ古イ所ノ説ニ基イテ居リマスレバ其説ノ多數ヲ得タノハ最モ宜シキヲ得タ修正デアラウト考ヘマスニ依リ議決致シタ、唯今會期モ切迫シテ居ルカラ兩院ノ協議等ノコトガ僅カ一字ノ間デ協議ヲ致シテ此會期ニ結了致サヌヤウナ恐モアルト申サレマシテ、是ハ隨分無理ナラヌ政府委員ノ意見デアリマスケレドモ僅ナ事ガ即チ人心ニ餘程關係ヲ致ス、此文字ノ上デ唯通常ニ論ジテ見マスレバ何デモナイ事ノヤウニ見エマスケレドモナカノ地方ノ人心ハサウ一概ニハ申サレマセヌカラ是ハ協議ノ節ニ多數ヲ決シタル委員會ノ説ヲ採用スルト云フコトハ餘程宜シキ事ト考ヘマスカラ滿場ノ御參考ノタメニ委員會ノ次第第一應申述ベテ置キマス

○政府委員(木内重四郎君) 此三郡ヲ三井郡ト致シテ原案ニ提出致シタルモノハ現在ハ御井、御原、山本三郡ヲ合スルノデアリマスガ此三郡中ノ御井郡ノ名稱ヲ其儘直ク取ルト云フコトハ果シテ民心ニ適スルカ或ハ文字ヲ多少變更シテ名稱ハ三井郡デアリマスガ音デハ「サンセイ」トスル方ガ民心ニ適スルカト云フコトハ殆ド辯明ヲ俟タヌコトデアラウト思ヒマス、鹿毛君ハ「御」トシタイト云フ御演説ガアリマシタガ安場君ノ如キハ土地ノ人心ニハ一向影響シナイト思フト唯今モ一寸述べラレタヤウニ承ルノデ然ラバ文字ハドチラデモ影響ハナイト云フ委員長ノ御説デアル又政府ノ方デハ文字ヲ變ヘル方ガ却ッテ民心ニ適當シテ居ルト見テ居ルノデスカラシテ滿場諸君ニ於テモ僅カ文字一字ノ事デ衆議院ヘ廻付スルト云フ勞ヲ執ラル、ト云フヤウナ必要モナカラウト思ヒマスカラ原案ニ賛成アラントヲ希望致シマス

○田中芳男君 本員ハ唯今ノ三井郡ノ所デハゴザイマセヌガ此原案ノ中ニ聊カ本員ノ合點ノ往カヌ事ガアリマスカラ政府委員ニ御尋致シマスガ是ハ本員ガ此法文ノ見ヤウガ惡イノカ知レマセヌカラシテ若シ見ヤウガ惡ルカリマシタナラバ差控ヘマスガ此福岡縣ノ中ノ仕舞ノ方ニ築上郡ヲ置クト云フコトガアリマス其字ノ上ニ割註ガアリマス、其割註ニ山國川支流以東ヲ除クトアリマス此以東ハ何處ヘ持ッテ行キマスカ、此法中ニハ見エマセヌガ、ドウナリマスノデセウカ、一寸伺ヒマス

○政府委員(木内重四郎君) 是ハ此外ノ法律案ニ今度提出ヲ致シマシタル福岡縣大分縣縣界變更法律案ト云フノガゴザイマスガ其方デ山國川支流以東ハ

大分縣中津ノ方ニ編入スルコトニナッテ居リマス

○安場保和君 唯今政府委員カラ再答辯ヲ承リマスレバ本員ハ委員長ノ資格ヲ以テ民心ニ差障リハナイト言フタカラト云フコトデアリマスガ少シ耳障リデ諸君ガ御惑ヒヲ生ズルカト思フ、本員ハ誠ニ訥辯デアリマスカラ政府委員ノ御耳ニ這入兼ネマシタラウガ本員ノ主意ハサウデハナイ、本員ノ一個ノ考ハ左マデ民心ニ關係スルコトモナカラウト云フ説ヲ立タケレドモ土地ノ狀況ニ能ク明ナル一委員ヨリ、ソレハ御井ト云フ名稱ニモ御井御原ト云フコトモ自ラ連絡ガアル且ツ元々此三郡ト云フモノハ一團體ニ爲ッテ舊藩ノ時分カラ居ッタ、是ハ御井郡ト云フコトニナッテ御ノ字ヲ用ヒタ所ガ其外ノ二郡ヲ廢スルト云フ方ニ附イテ民心ニハ決シテ惡感情持ツ恐ハナイ、殊ニ御ノ字ガ彼ノ邊デモ通常御井ト云フ名所ガ有ッテ其名所ニ依ッテ彼ノ邊ヲ御井ト指シテ居ルコトデアリマシテ後世ニ至ッテ御井御原山本ト郡界ガ附イテモ決シテ民心ニ差響クコトハナイト云フ土地ノ狀況ニ明ナル人ノ説モ起リマシテ委員會ノ多數ガ其説ヲ賛成致シタニ依ッテ私ハ本員一個ノ考ハ左マデ差響ハアルマイト云フ考ヲ持ッテ居ッタガ右ノ通デアアルカラ此方ヲ可決致シタト云フ主意デアリマス、ドウゾ其邊ノ能ク分リマスヤウニ御聽取リヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス

○安場保和君 本案ハ斯ノ通、簡單ナモノデゴザイマシテ爭フ所僅ナ修正デアリマシテ一字ノ文字上ノ事デアリマスカラドウゾ引續イテ讀會省略ノ法ニ依ッテ引續キ開議アラントヲ希望致シマス

○森山茂君 賛成

○男爵渡邊清君 賛成

○男爵榎村正直君 賛成

○武井守正君 今安場君ノハ日程變更ト思ヒマスガ即チ議事日程ヲ變更シテ第二讀會ヲ開カウト云フ……

○安場保和君 是ハ言葉ガ足リマセヌデシタガ其主意デゴザイマスカラドウゾ御賛成下サイ

○武井守正君 賛成デス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 第二讀會ヲ直ニ開クト云フ勸議デアリマスカ

○安場保和君 サウデゴザイマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開クト云フ

安場君ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス直ニ第二讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略シマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

福岡縣下郡廢置法律案

福岡縣筑前國嘉麻郡及穂波郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ嘉穂郡ヲ置ク
福岡縣筑前國上座郡、下座郡及夜須郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ朝倉郡ヲ置ク
福岡縣筑前國御笠郡、那珂郡及席田郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ筑紫郡ヲ置ク
福岡縣筑前國怡土郡及志摩郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ糸島郡ヲ置ク
福岡縣筑後國竹野郡ヲ廢シ其ノ區域ト生葉郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(姫治村、大石村、山春村、椿子村、浮羽村、千年村、福富村、江南村、吉井町)トヲ以テ浮羽郡ヲ置ク
福岡縣筑後國上妻郡及下妻郡ヲ廢シ其ノ區域ト生葉郡ニ屬セシ區域ノ一部(星野村)トヲ以テ八女郡ヲ置ク
福岡縣筑後國御井郡、御原郡及山本郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ三井郡ヲ置ク
(特別委員ニ於テ「三井郡」ヲ「御井郡」ト修正ス)
福岡縣豐前國京都郡及仲津郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ京都郡ヲ置ク
福岡縣豐前國築城郡ヲ廢シ其ノ區域ト上毛郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(山田村、八屋町、宇島町、千束村、三毛門村、黒土村、横武村、合河村、西吉富村、岩屋村、友枝村、唐原村、南吉富村、東吉富村、高濱村、大字小祝ノ内山國、川支流以東ヲ除ク)トヲ以テ築上郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是ハ別段分割スル程ノ必要モナイト思ヒマスカ
ラ、全部ヲ問題ニ供シマシテ、一箇所委員ノ修正ガ有リマスカラ、委員ノ修正ニ就イテ決ヲ採ルコトニ致シマス

○瀧口吉良君 本員ハ委員會ニ於キマシテハ此原案ヲ賛成シタ一人デゴザイ
マスガ、不幸ニシテ少數デ倒レマシタノデアリマス、尙ホ委員會ノ多數ノ決
議ニ反對スルノハ快クハナイ譯デハアリマスルガ、併ナガラ此原案ガ善カラ
ウト信ジテ居ルノデ原案ヲ賛成シマス、就キマシテハ其理由ヲ一言致シマス
ガ、總テ此郡ノ廢置分合等ノ法案ヲ政府ガ議會ニ提出セラル、ニ當ッテ取調
ヲセラレタ所ノ模様ヲ委員會デ承ッテ見マサルニ此法案ト云フモノハ此議會
ニ始テ提出サレタノデモナク既ニ議會ヘ提出サレタコトガ二度マデモアルノ

デ、ソレカラ大分年月モ經ッテ居ルノデ其間ニ再三調査モセラレテ、ソレカ
ラ段々地方長官カラモ民情ヲ調べ、實際ノ情況ヲ調べテカラ政府ノ此法案ヲ
提出セラレル所ノ參考ニ爲ルベキ所ノ材料ガ出テ既ニ安場君ノ如キハ此福岡
縣ノ知事ヲサレタ時分ニ御上申ニナツタモノモ有ルサウデ、其時ニハ矢張三井
郡ト云フコトニ御上申ニナツテ居ルサウデアリマス、而シテ此三井ト云フモ
ノガ新シキ文字ナラバ免モ角既ニ其舊記ニモ御井カ、或ハ三井トカニ様ニ爲
テ居ルト云フコトデゴザイマスレバ決シテ此三井ト云フコトデ差支ハナイト
思ヒマスカラ、尙ホ政府委員ガ辯明セラレタ通此三郡ヲ合併シテ一ヲ郡名
トスルノデアリマスカラ、他ノ二郡ノ感情ノ上カラ考ヘテモ矢張三井ト爲
タ方ガ宜カラウト思ヒマスカラ、私ハ原案ヲ賛成致シマス
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 表決ニ付シマス、委員ノ修正ヲ可トスル諸君ノ
起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 少數デゴザイマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立
ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、第二讀會ハ是デ了リマシテ
ゴザイマス

○子爵堤功長君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ希望致
シマス

○伯爵大原重朝君 賛成

○瀧口吉良君 賛成

○子爵林友幸君 賛成

○安場保和君 賛成

○加藤弘之君 賛成

○子爵山口弘達君 賛成

(「賛成」ト呼フ者多シ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會ヲ開クト云フ
提子爵ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、直ニ第三讀會ヲ開キマス、
朗讀ハ省略シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ佐賀縣下郡廢置法律案
宮崎縣下郡廢置法律案、此二ツノ案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス

○瀧口吉良君 矢張此二件ノ法案ニ就キマシテモ讀會省略ヲ要求致シマス

○關田可通君 贊成

○男爵渡邊清君 贊成

○加藤弘之君 贊成

○安場保和君 贊成

○子爵板倉勝達君 贊成

○伯爵大原重朝君 贊成

○男爵玉松具幸君 贊成

(「贊成」ト呼フ者多シ)

○議長(侯爵須賀茂韶君) 瀧口君ヨリノ讀會省略ノ動議ハハ定規ノ贊成ガ
ゴザイマス、是ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂韶君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會省略ニ爲リマ
ス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

佐賀縣下郡廢置法律案

佐賀縣肥前國基肄郡養父郡及三根郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ三養基郡ヲ置
ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

宮崎縣下郡廢置法律案

宮崎縣日向國宮崎郡及北那珂郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ宮崎郡ヲ置
ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

○議長(侯爵須賀茂韶君) 原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ銀行合併法案、政府提
出、衆議院送付、第一讀會ヲ開キマス通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

銀行合併法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付

候也

明治二十九年三月十七日

衆議院議長楠本正隆

貴族院議長侯爵須賀茂韶殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

銀行合併法

第一條 同一ノ法律ニ依リテ設立シタル銀行營業ノ各株式會社ハ左ノ方法
ニ依リ合併スルコトヲ得

第一 會社其ノ資産及負債ノ全部ヲ以テ他ノ會社ニ合併スルコト

第二 二箇以上ノ會社合併シテ更ニ一ノ會社ヲ設立スルコト

第三條 前條第一ノ方法ニ依リ合併セントスル會社ハ各其ノ株主總會ニ於
テ合併ニ關スル事項ヲ決議シ地方長官ヲ經由シテ主務省ノ認可ヲ受クヘ
シ

前項株主總會ノ招集ハ少クトモ會日ノ三十日前ニ之ヲ爲スヘシ

第三條 第一條第二ノ方法ニ依リ合併セントスル會社ハ各其ノ株主總會ノ
決議ヲ取リタル後各會社株主ノ聯合總會ヲ開キ合併ノ決議ヲ爲シ更ニ設
立スヘキ會社ノ定款ヲ議定シ各會社取締役ノ連署ヲ以テ地方長官ヲ經由
シテ主務省ノ認可ヲ受クヘシ

聯合株主總會ニ於テハ更ニ設立スヘキ會社ノ取締役及監查役ヲ選定ス

前條第二項ノ規程ハ本條ノ株主總會ニモ亦之ヲ適用ス

第四條 株主總會及聯合株主總會ノ決議方法ハ商法第二百三條ノ規程ニ依
ル

聯合株主總會ニ於ケル株主ノ議決權ハ一株毎ニ一箇トス但シ各會社ノ定
款ニ於テ議決權ノ制限ヲ設ケタルトキハ其ノ制限ハ十一株以上ヲ有スル
株主ノ議決權ニ對シテノミ之ヲ適用シ且各定款ノ制限同シカラサルトキ
ハ株主ニ對シ最利益アル制限ノ規程ヲ適用ス

各會社ノ株式ハ金額相同シカラサルトキハ其ノ最少額ノ株式金額ヲ標準
トシテ其ノ他ヲ改算シ議決權ノ數ヲ定メ每株主持株ノ總金額ニ於テ端數
ヲ生スルトキハ之ヲ算入セス

第五條 株主總會ノ招集アリタルトキハ各會社ハ合併スヘキ他ノ會社ノ株
主ノ求ニ應シ商法第二百二十二條ニ掲ケタル書類ヲ展閱ヲ許ス義務アリ

第六條 株主總會ノ招集アリタルトキハ各會社營業所ノ裁判所ハ合併スヘ
キ一方ノ會社ノ總株金ノ少クトモ五分ノ一ニ當ル株主ノ申立ニ因リテ一
人又ハ數人ノ官吏ニ他ノ一方ノ會社ノ業務ノ實況及財産ノ現況ノ検査ヲ
命スルコトヲ得

商法第二百二十五條及第二百二十六條ノ規程ハ本條ノ検査ニモ亦之ヲ適用ス

第七條 聯合株主總會若クハ第二條ノ株主總會ニ於テ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ取締役ヨリ之ヲ裁判所ニ届出ツヘシ

第八條 主務省及裁判所ハ合併ノ實況ヲ監視スル權アリ

第九條 聯合株主總會若クハ第二條ノ株主總會ニ於テ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ合併ニ因リ消滅スヘキ會社ハ既ニ始メタル取引ヲ完結シ又ハ現ニ存在スル會社義務ヲ履行スル外其ノ業務ヲ止メ且少クトモ三回之ヲ公告スヘシ取締役之ニ拘ハラシテ營業ヲ續行スルトキハ此力爲メ其ノ全財産ヲ以テ自己ニ責任ヲ負フ

第十條 合併セントスル會社ハ公告ヲ爲シテ聯合株主總會若クハ第二條ノ株主總會ノ會日前一箇月ヲ豫メサレ期間株式ノ讓渡ヲ停止スルコトヲ得

第十一條 合併ノ方法ニ依リ合併セントスル場合ニ在テハ聯合株主總會ニ於テ合併ノ決議ヲ爲シタル日ヨリ第十四條ニ依リ登記ヲ受クルマテノ間ニ爲シタル株式ノ讓渡ハ無効ナリ

第十二條 合併ノ認可アリタルトキハ取締役ハ合併ノ旨ヲ總テノ債權者ニ通知シ且合併ニ對シ異議アル者ハ或ル期間内ニ會社ニ申出ツヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス但其ノ期間ハ三十日ヲ下ルコトヲ得ス

第十三條 前條ニ掲ケタル期間内ニ異議ノ申出アラサルトキハ異議ナキモノト看做ス

第十四條 期間内ニ異議ヲ申出タル債權者アルトキハ會社ハ直ニ其ノ債務ヲ辨償シ若クハ之ニ擔保ヲ供シテ其ノ異議ヲ取除クコトヲ要ス

第十五條 會社ハ第十一條ノ期間ヲ經過シ且有效ニ申出タル債權者ノ異議ヲ取除キ又訴訟中ノ債務額ハ之ヲ辨償シ若クハ供託シタル後ニアラサレハ合併ヲ決行スルコトヲ得ス但總テノ債權者ニ於テ異議ナキコトヲ明示シタルトキハ該期間内ト雖合併ヲ決行スルコトヲ得

第十六條 合併ヲ決行シタルトキハ十四日內ニ登記ヲ受ケ同時ニ之ヲ株主ニ通知シ且地方長官ヲ經由シテ主務省ニ届出ツヘシ

第十七條 登記及公告スヘキ事項ハ左ノ如シ

第一 合併後存留スル會社ニ在テハ

一 合併認可及合併決行ノ年月日

二 既ニ登記ヲ受ケタル事項ニ變更ヲ生シタルモノ

三 合併ニ因リ消滅シタル會社ノ社名

第二 合併ニ因リ更ニ設立セル會社ニ在テハ商法第百六十八條第二項(第八號ヲ除ク)ニ掲ケタル事項ノ外仍左ノ二項

一 合併認可及合併決行ノ年月日

二 合併ニ因リ消滅シタル會社ノ社名

第十五條 會社支店アルトキハ其ノ所在地ニ於テモ亦登記ヲ受ケヘシ

第十六條 第十四條ノ期間内ニ登記ヲ受ケサルトキハ此力爲メ會社又ハ第三者ニ生シメタル損害ニ付取締役ハ其ノ全財産ヲ以テ自己ニ責任ヲ負フ

第十七條 合併後存留シ若クハ合併ニ因リ更ニ設立セル會社ハ合併ニ因リ消滅シタル會社ノ權利義務ヲ承繼ス

第十八條 國立銀行ハ第一條第二ノ方法ニ依リ合併スルコトヲ得ス

第十九條 第二條第一項ノ決議方法ハ國立銀行ニ在テハ國立銀行條例第六十九條ノ規程ニ依ル

第二十條 合併ニ因リ消滅シタル國立銀行ニ於テ發行シタル紙幣ハ合併後存留スル國立銀行ニ於テ自己ノ發行シタル紙幣ト俱ニ國立銀行條例第百十二條ノ方法ニ依リ其ノ營業年限内ニ悉皆消却スヘシ

第二十一條 合併ノ認可アリタルトキハ合併ニ因リ消滅スヘキ會社ノ訴訟ハ合併後存留シ若クハ合併ニ因リ更ニ設立セル會社ニ於テ訴訟手續ヲ受繼クマテ之ヲ中斷ス

民事訴訟法第一編第三章第五節當事者ノ死亡ニ因レル訴訟手續ノ中斷ニ關スル規程ハ前項ノ場合ニモ亦之ヲ準用ス

第二十二條 取締役第十四條ノ登記ヲ受クルコトヲ怠リタルトキハ商法第二百五十六條ノ例ニ依リ第十一條ノ通知及催告ヲ爲スコトヲ怠リタルトキハ商法第二百五十九條ノ例ニ依リテ處分ス

(政府委員男爵田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 唯今提出ニナリマシタル銀行合併法案ニ就

イテ一言申上ゲマスルガ、方今此銀行ノ發達ト云フモノハ地方ニ餘程其萌芽ヲ發シマシテ此模樣ガ宜シウゴザイマス、而シテ又此小サイ銀行ガ段々合併ヲシ

テ大キク爲ツテ仕事ヲシヤウト云フ傾モアリマスル殊ニ此國立銀行ノ處分モ濟ミマスル時ニ至リマスルト此中ニハ餘程合併ヲ望ムモノモ有リマシテ、

此合併ヲ致スト云フコトハ餘程宜シイ事デアリマスルカラ成ルタケ之ヲ獎勵致シマシテ、簡略ナ手續ヲ經タ方宜カラウト云フ所ヨリ此法案ヲ差出シタ

譯デアリマスガ、御承知ノ通、商法ノ普通ノ手數ニ依リマシテ、或モノヲ解散シマシテ、又新シイモノヲ立ツルト致シマスルト、餘程手數ガ掛リマスルカラ合併ヲ致サウト思フノモ稍、躊躇スルノモ有リマシテ、善イ事ガアリ惡イト云

フ事ガアリマスカラ、簡便法ヲ藉リマシテ此法律ノ力ニ依リマシテ、合併ヲ
バ獎勵スルト云フ趣旨デアリマスカラ時勢ニ餘程必要ナモノト認メマスルカ
ラ、ドウゾ委員會ニ於キマシテ、十分ニ御調査ヲ遂ゲラレマシテ速ニ御協贊
アラシコトヲ希望致シマス

○箕作麟祥君 一寸政府委員ニ伺ヒマスガ、此衆議院デ修正ヲシマシタ所ガ
有リマスガ、政府ノ案ハ一株ノ金額並ニ拂込額ハ互ニ相同ジイモノニ限ッテ
合併ヲ許スト云フコトニナッテ居リマスガ、ツレヲ衆議院デ削ッテ金額ガ同
ジクナイモノデモ矢張合併ヲ許スト云フコトニナッテ居リマスガ、一體政府ノ
原案ハドウ云フモノデアリマセウカ、又衆議院ノ修正ノ趣意ハドウ云フノデ
アリマセウカ、若シ御説明ガ出來得ラル、ナラバ承リタウゴザイマス

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 唯今ノ箕作君ノ御話デアリマスガ、政府ヨ
リ提出致シマシタル時ハ成ルタケ原案ノヤウナノガ合併ガ仕易イト云フ考デ
斯ウ致シタノデゴザイマス、併ナガラ衆議院ノ方モ又希望ハ成タケ此範圍ヲ
廣クシテ、サウシテ合併ヲスルモノガ成タケ餘計此法律デア出來ルヤウト云フ
希望デ此修正ヲ試ミタノデアリマシテ強イテ爭フ程ノ事デモアリマセヌカラ
シテ是デ宜シカラウト思フテ居ルノデゴザイマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リ
マス

○山田卓介君 此議案ノ特別委員ハ議長ノ御選定アラシコトヲ……

○伯爵大原重朝君 贊成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 委員ノ選定ハ議長ニ託スル山田君ノ動議ニ贊成
ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ移民保護法案、政府提
出、衆議院送付、第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

移民保護法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付
候也

明治二十九年三月十七日

衆議院議長楠本正隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ玆ニ載録ス)

貴族院議事速記録第三十九號

明治二十九年三月十九日

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 移民保護法案 第一讀會 四九五

移民保護法案

第一章 移民

第一條

本法ニ於テ移民ト稱スルハ勞働ニ從事スルノ目的ヲ以テ外國ニ渡
航スル者及其ノ家族ニシテ之ト同行シ又ハ其ノ所在地ニ渡航スル者ヲ謂
フ

前項勞働ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 移民ハ行政廳ノ許可ヲ受クルニアラサレハ外國ニ渡航スルコトヲ
得ス

渡航ノ許可ハ其ノ許可ノ日ヨリ六箇月以内ニ出發セサルトキハ效力ヲ失
フモノトス

第三條 行政廳ハ渡航スヘキ地ノ情況ニ因リ移民取扱人ニ依ラサル移民ヲ
シテ適當ト認ムル二人以上ノ保證人ヲ定メシムルコトヲ得

保證人ハ移民ノ疾病其ノ他困難ノ場合ニ於テ之ヲ救助シ若クハ歸國セシ
ムヘシ又行政廳ニ於テ移民ヲ救助シ若クハ歸國セシメタルトキハ其ノ費
用ヲ辨償スヘシ

第四條 行政廳ハ移民保護ノ爲メ若クハ公安保持ノ爲メ又ハ外交上必要ト
認ムルトキハ移民ノ渡航ヲ差止メ又ハ其ノ許可ヲ取消スコトヲ得

渡航差止中ノ日數ハ第二條第二項ノ期間ニ算入セス

第二章 移民取扱人

第五條 本法ニ於テ移民取扱人ト稱スルハ何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ラス
移民ヲ募集シ又ハ其ノ渡航ヲ周旋スルヲ以テ營業ト爲ス者ヲ謂フ

第六條 移民取扱人タラント欲スル者ハ行政廳ノ許可ヲ受クヘシ
移民取扱人ノ許可ハ其ノ許可ノ日ヨリ六箇月以内ニ營業ヲ開始セサルト
キハ效力ヲ失フモノトス

第七條 帝國臣民又ハ帝國臣民ノミヲ社員若クハ株主トスル商會社ニシ
テ帝國ニ於テ主タル營業所ヲ有スルモノニアラサレハ移民取扱人タルコ
トヲ得ス

前項ノ外移民取扱人ニ要スル資格ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 行政廳ハ移民取扱人ノ行為法律命令ニ違反シタルトキ若クハ公安
ヲ害スルモノト認ムルトキ又ハ移民取扱人保證金ノ納付ヲ遲滞シタルト
キハ其ノ營業ヲ停止シ又ハ營業ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第九條 移民取扱人ハ營業ヲ停止セラレ又ハ休業シタルトキト雖既ニ渡航
セシメタル移民ニ對シ契約ノ履行ヲ中止スルコトヲ得ス

第十條 移民取扱人代理人ヲ定メ其ノ業務ヲ行ハシムルトキハ命令ノ定ム

ル所ニ依リ行政廳ノ許可ヲ受ケヘシ

第十一條 移民取扱人ハ業務擔當社員若クハ取締役又ハ代理人ヲ在留セシメサル地ニ移民ヲ渡航セシムルコトヲ得ス

第十二條 移民取扱人ハ移民トシテ渡航スル者ニアラサレハ其ノ周旋又ハ募集ヲ爲スコトヲ得ス

第十三條 移民取扱人渡航ノ周旋又ハ募集ヲ爲ストキハ移民ト書面契約ヲ爲シ行政廳ノ認可ヲ受ケヘシ

前項契約ニ必要ナル條件ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第十四條 移民取扱人ハ前條認可ヲ受ケタル書面契約ニ定ムル所ノ渡航周旋料若ハ手数料ノ外何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス移民ヨリ金錢又ハ物品ヲ受クルコトヲ得ス

第十五條 移民取扱人移民ヲ募集スルトキハ出發セシムヘキ期日ヲ豫定シテ之ヲ示スヘシ移民取扱人正當ノ理由ナクシテ豫定ノ期日內ニ移民ヲ出發セシメサルトキハ其ノ出發延期ノ爲ニ生スル移民ノ費用ヲ負擔スヘシ

第三章 保證金

第十六條 移民取扱人ハ行政廳ニ保證金ヲ納付シタル後ニアラサレハ其ノ營業ヲ開始スルコトヲ得ス

保證金額ハ一萬圓以上トシ行政廳之ヲ定ム

第十七條 行政廳ハ必要ト認ムルトキハ保證金額ヲ増減スルコトヲ得但前條ノ金額以下ニ下スコトヲ得ス

第十八條 行政廳ニ於テ移民取扱人移民ニ對シ契約ヲ履行セスト認メタルトキハ保證金ヨリ其ノ費用ヲ支出シテ移民ヲ救助シ又ハ歸國セシムルコトヲ得

第十九條 移民取扱人死亡解散營業許可ノ取消又ハ其ノ他ノ理由ニ依リ營業ヲ廢止スルモ保證金ハ行政廳ニ於テ領置ノ必要アリト認ムル間ハ其ノ全部又ハ一部ヲ還付セサルコトヲ得

第二十條 移民取扱人營業中及前條行政廳ニ於テ保證金領置ノ必要アリト認ムル間ハ移民又ハ其ノ相續人カ本法ニ從ヒタル契約ニ基キ權利ヲ執行スル場合ノ外何人ト雖保證金ニ對シテ債權取立ヲ爲スコトヲ得ス

第四章 罰則

第二十一條 渡航ノ許可ヲ受ケス又ハ渡航地ヲ詐リテ許可ヲ受ケ又ハ渡航差止命令ニ違反シテ渡航シタル移民ハ五十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十二條 法律命令ニ違反シタル移民ノ渡航ヲ周旋シ又ハ渡航差止中ニ移民ヲ渡航セシメタル移民取扱人及代理人ハ五十圓以上五百圓以下ノ罰

金ニ處ス

第二十三條 行政廳ノ許可ヲ受ケシテ移民取扱人ノ行爲ヲ爲シタル者又ハ營業停止中ニ移民ヲ募集シ又ハ其ノ渡航ノ周旋ヲ爲シタル移民取扱人及代理人ハ二百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十四條 移民取扱人行政廳ノ許可ヲ受ケサル代理人ヲシテ其ノ行爲ヲ爲サシメタルトキハ二百圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ行爲ヲ爲シタル代理人亦同シ

第二十五條 第十一條第十二條第十三條第十四條及第十六條第一項ニ違反シタル移民取扱人及代理人ハ五十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十六條 誘惑ノ手段ヲ以テ移民ヲ募集シ若クハ渡航ノ周旋ヲナシタル移民取扱人及代理人ハ一年以上以下ノ重禁錮ニ處ス

第二十七條 本法ノ罰則ハ商事會社ニ在テハ其ノ各條ニ掲グル行爲ヲ爲シタル業務擔當社員又ハ取締役ニ之ヲ適用ス

第五章 附則

第二十八條 本法施行以前ヨリ當該官廳ノ許可ヲ受ケ營業スル移民取扱人ハ本法施行ノ際別ニ許可ヲ受クルヲ要セス本法ノ規程ニ依リ其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得但其ノ營業ヲ繼續セサルトキト雖其ノ既ニ納付シタル保證金ニ對シテハ仍本法ノ規程ヲ適用ス

第二十九條 本法ハ帝國ト締結シタル特別ノ條約ニ基キ渡航スル移民及其ノ取扱人ニ適用セス

第三十條 本法施行ノ爲ニ必要ナル細則ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十一條 本法ハ明治二十九年六月一日ヨリ施行ス

明治二十七年勅令第四十二號移民保護規則ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

(政府委員原敬君演壇ニ登ル)

○政府委員(原敬君) 唯今日程ニ上リマシタル移民保護法案ニ就イテ大體ヲ說明致シテ置キマス、是ハ御承知ノアリマス通、明治二十七年ニ既ニ勅令ヲ以テ移民保護規則ト云フモノヲ發布致シマシテ爾來其規則ニ依リテ施行シテ參々ノデゴザイマス、併ナガラ移民取扱人ノ財產ニ關スル事又ハ移民ト取扱人トノ契約履行ニ關スル事柄等ニ就イテハ勅令ヲ以テハ十分ノ取締ガ附カヌコトガゴザイマス、故ニ此際之ヲ法律案トシテ提出致シタ譯デ、法律案トシテハ新規ノモノデゴザイマスルケレドモ既ニ二箇年モ施行シテ居リタ勅令ニ基キ勅令ノ效力ヲ以テ足ラザル部分ガ有リマスルノデ更ニ法律ノ效力ヲ藉リテ取締ラウト云フコトニ爲タノデゴザイマス、是ハ移民保護規則發布ノ當時諸君ノ御承知ノ通其二十七年頃少シ前カラ海外ニ出ル者ハ著シク増加致シマシタト同時ニ其海外ニ渡航スル者ノ中ニ出稼目的トシテ參ル者ガ著シ

ク増加致シマシタ、其出稼人ノ増加スルニ從テツレヲ周旋シテ營業スル者モ多ク爲リマシタ、其間ニハ隨分移民ガ海外ノ事ヲ知ラズシテ唯一時ニ利益ガアルモノトシテ出掛ケヤウトスル、取扱人即チツレヲ當時周旋シマシタ者ハ一時手数料ヲ取ツテ海外ニ送りサヘスレバ跡ハ構ハナイト云フヤウナコトデ無闇ニ送り出スト云フ事實ガ有タノデ、故ニ此移民保護規則ヲ發布シテ多少ツレハ取締ヲ致シマシタ、其後幾ラカ其弊モ除イテ今日デハ稍、適當ノ度合ニ出稼人ガ出テ參ルヤウニナツテ居リマス、併ナガラ海外ニ出テ參ツテ居リマスル出稼人ヲ保護スル點ニ於テハ今日ノ所デハ甚ダ不十分ナ點ガアリマスノデ此法案ヲ提出致シマシタ譯デ、是ハ唯今申シマシタ通ニ大部分ハ勅令ヲ以テ現ニ施行シアル所ノモノデゴザイマスルカラ政府ニ於テモ其經驗ニ依ッテ十分考案ヲ致シタコトデゴザイマス、願クハ速ニ諸君ニ於テモ可決セラルルコトヲ希望致シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○男爵中川與長君 本案ノ審査ハ議長ニ於テ選定アリタイト思ヒマス

○男爵玉松眞幸君 贊成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 委員ノ選定ヲ議長ニ託スル中川男爵ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ郡廢置法律案ガ三件ゴザイマス、是ハ先例ニ依リマシテ約メテ問題ニ供スル、即チ静岡縣下郡廢置法律案、岐阜縣下郡廢置及郡界變更法律案、愛媛縣下郡廢置法律案、是ダケノ第一讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略致シマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

静岡縣遠江國佐野郡及城東郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ小笠郡ヲ置ク

静岡縣遠江國磐田郡及山名郡ヲ廢シ其ノ區域ト豐田郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(中泉町、梅原村、天龍村、長野村、柳浦村、十束村、井通村、池田村、富岡村、岩田村、廣瀬村、向笠村、大藤村、今井村、三川村、敷地村、一俣町、野部村、光明村、龍川村、山香村、佐久間村、蒲川村、熊村、上阿多古村、下阿多古村)ト長上郡ニ屬セシ區域ノ一部(掛塚村)トヲ以テ磐田郡ヲ置ク

静岡縣遠江國濱名郡ヲ廢シ其ノ區域ト長上郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(笠井町、有玉村、美島村、天王村、市野村、飯田村、河輪村、五島村、小野田村、中郡村、和田村、蒲村、芳川村、平貴村)ト敷知郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(濱松町、曳馬村、三方原村、天神町、白鵲村、淺場村、新津村、篠原村、舞阪町、新居町、吉津

村、新所村、知波田村、入出村、和地村、吉野村、北庄、内村、南庄、内村、村、櫛村、雄踏村、神久呂村、入野村、伊佐見村、富塚村)ト豐田郡ニ屬セシ區域ノ一部(赤佐村、中瀬村、龍池村、豐西村、中ノ町村)トヲ以テ濱名郡ヲ置ク

静岡縣遠江國引佐郡及龍玉郡ヲ廢シ其ノ區域ト敷知郡ニ屬セシ區域ノ一部(西濱名村、東濱名村)トヲ以テ引佐郡ヲ置ク

静岡縣駿河國安倍郡及有渡郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ有安郡ヲ置ク

静岡縣駿河國志太郡及益津郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ志太郡ヲ置ク

静岡縣伊豆國那賀郡ヲ廢シ其ノ區域ト賀茂郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(下田町、城東村、稻取村、下河津村、上河津村、稻梓村、稻生澤村、濱崎村、朝日村、竹麻村、南崎村、南中村、南上村、三坂村、三濱村、岩科村、松崎村)トヲ以テ賀茂郡ヲ置ク

静岡縣伊豆國田方郡及君澤郡ヲ廢シ其ノ區域ト賀茂郡ニ屬セシ區域ノ一部(多賀村、網代村、宇佐美村、伊東村、小室村、上大見村、中大見村、下大見村、對島村、熱海町)トヲ以テ田方郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

岐阜縣下郡廢置及郡界變更法律案

岐阜縣美濃國厚見郡及各務郡ヲ廢シ其ノ區域ト方縣郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(木田村、下尻毛村、黑野村、下鶴飼村、御望村、洞村、交人村、折立村、今川村、古市場村、安食村、彦坂村、佐野村、石谷村、岩利村、打越村、城田寺村、上土居村、椿洞村、正木村、鷺山村、下土居村、長良村、福光村、雄總村、志段見村、古津村、則武村)トヲ以テ稻葉郡ヲ置ク

岐阜縣美濃國羽栗郡及中島郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ羽島郡ヲ置ク

岐阜縣美濃國海西郡及下石津郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ海津郡ヲ置ク

岐阜縣美濃國多藝郡及上石津郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ養老郡ヲ置ク

岐阜縣美濃國池田郡ヲ廢シ其ノ區域ト大野郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(揖斐町、北方村、上南方村、房島村、若松村、極樂寺村、清水村、松山村、瀬古村、牛洞村、中之元村、豐木村、稻富村、上秋村、古川村、寺内村、稻畑村、黑野村、六里村、麻生村、相羽村、下方村、公郷村、大友斐村、小友斐村、領家村、杉野村、加納村、上磯村、郡家村、本莊村、下磯村、西座倉村、下座倉村、五ノ里村、下南方村、長瀬村、岐禮村、高利村、名禮村、德積村、大洞村、深坂村、横藏村)トヲ以テ揖斐郡ヲ置ク

岐阜縣美濃國本巢郡及席田郡ヲ廢シ其ノ區域ト方縣郡ニ屬セシ區域ノ一部(河渡村、寺田村、曾我屋村、一日市場村、七郷村、中西郷村、上西郷村、小野村、中村、網代村)ト大野郡ニ屬セシ區域ノ一部(政田村、淺木村、溫井村、海老村、下福島村、唐西木村、木林村、七崎村、田ノ上村、宮田村、大日村、居食村、古橋村、呂

久村、中宮村、横屋村、寶江村、西根尾村)トヲ以テ本巢郡ヲ置ク
岐阜縣美濃國山縣郡ニ方縣郡ニ屬セシ區域ノ一部(栗野村、岩崎村、三田洞村)ヲ編入ス

附則

此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

愛媛縣下郡廢置法律案

愛媛縣伊豫國温泉郡、久米郡、風早郡及和氣郡ヲ廢シ其ノ區域ト下浮穴郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(三内村、南吉井村、浮穴村、拜志村、荏原村、阪本村)ト伊豫郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(垣生村、余土村)トヲ以テ温泉郡ヲ置ク
愛媛縣伊豫國越智郡及野間郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ越智郡ヲ置ク
愛媛縣伊豫國周布郡及桑村郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ周桑郡ヲ置ク
愛媛縣伊豫國伊豫郡ニ屬セシ區域ノ一部(南山崎村、北山崎村、郡中村、郡中町、南伊豫村、北伊豫村、岡田村、松前村)ト下浮穴郡ニ屬セシ區域ノ一部(原町村、砥部村、廣田村、出淵村、中山村、佐禮谷村、上灘村、下灘村)トヲ以テ伊豫郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

○田中芳男君 一寸政府委員ニ質問致シタウゴザイマス、唯今問題ニ爲リマシテゴザイマス愛媛縣ノ所ヲ一寸……愛媛縣ノ浮穴郡ト申シマスルモノハ昔ハ一ツデ郡デアッタノヲ、イツカ知レマセヌガ上下ニ分レテアッタ、然ルニ此度此下浮穴ト云フ方ヲ廢シマス上ト云フ浮穴バカリ一ツ殘ルヤウニナリマス、其下ガ無クナッテ上バカリ殘ルト何ダカ上ト云フ字ハ要ラヌヤウデゴザイマス、此所ヲ今日ハ見マシテモ一寸見當リマセヌガ矢張上ハ上デ御置キニナル譯デゴザイマス、ドウ變リマス譯デゴザイマス、其邊ヲ承リタウゴザイマス

○政府委員(木内重四郎君) 此上、下トアル此一方ヲ廢シマスレバ片一方ノミガ……上ダケ殘ルト云フノハ實ニ下ノウヘニ取ッテハ異ナモノデゴザイマスを併シ事柄ニ於テ上ト云フ字ヲ廢スルト云フ法律案ヲ出ス程ノ事デハナイト存ジマシテ其儘ニ致シテ置キマシタ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ審查ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○子爵土方雄志君 先頃選定ニナリマシタ島根縣下郡廢置法律案ノ此委員ニ三件ノ委員ヲ付託シタイト云フ動議ヲ提出致シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) ドノ委員デゴザイマス

○子爵土方雄志君 島根縣ノガ今殘ッテ居リマスカラ其委員ニ三件ヲ付託スルト云フ……

○男爵西五辻文仲君 本員ハ矢張特別ニ九名ヲ更ニ選ンデツレニ委託ヲスル、ツレハマダ衆議院ノ方ニモ是ト同様ナ案モゴザイマス、既ニ今日ノ議事日程ニモ上ッテ居ルノデツレヲ待ッテ此委員ニ付託スル、矢張別ニ選ムト云フコトヲ議長ノ選定ニ任セマス

○伯爵大原重朝君 西五辻男爵ニ贊成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 西五辻男爵ニ御贊成デスナ

○伯爵大原重朝君 ハイ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 西五辻男爵ヨリ委員ノ選定ハ議長ニ託ス、此動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ水産業保護ニ關スル建議案村田保君發議、會議ヲ開キマス、朗讀ヲ致サセマス

(有賀書記官朗讀)

水産業保護ニ關スル建議案

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

明治二十九年三月十七日

發議者

村田 保

贊成者

侯爵 德川 義禮

外八十二名

水産業保護ニ關スル建議案

方今帝國ノ富源ヲ培養シ國力ノ増進ヲ務ムヘキコトハ急務中ノ急務ト謂フヘシ而テ本邦ノ地勢タルヤ四圍環海ニシテ殊ニ良好ノ漁場多ク各種ノ水族ニ富メルコトハ普ク世人ノ知ル所ナリ然ルニ我漁民ノ資力薄弱ナル朝夕ノ計ヲ立ル能ハサルノ徒多クシテ僅カニ沿岸ノ小漁業ノミニ汲キトシテ遠洋大海ノ漁業ヲ營ムモノ至テ渺シ故ニ漁民人口ノ饒多ナルニ拘ハラス其漁獲高ニ至テハ甚タ僅少ナリトス以テ貴重ナル海產物ノ遺テ、拾ハザルモノ極メテ多キコトヲ知ル是ヲ以テ歐米人ハ年々歳々我近海ニ出沒シ堅牢ナル漁船ト精巧ナル漁具トヲ以テ廣漠ナル漁業ヲ營ミ一攫萬金ノ富ヲ致スモノアリト我漁民ハ之ヲ見テ徒ニ垂涎スルノミ豈慨嘆ノ至ナラスヤ是畢竟我漁業者ノ貧弱ナルト漁船漁具ノ不完全ナルニ因ラスンハアラス依テ我水産業ヲ發達シ國家ノ富源ヲ謀ラント欲セハ政府ニ於テ確實ナリト認ムル漁業團體ニ

相當ナル補助金ヲ與ヘテ漁船漁具ヲ改良セシメ遠洋漁業ヲ獎勵スルニ如ク
ハナシ茲ニ本院ハ水産業ノ發達ヲ圖ルノ急務ナルヲ認メ財政ノ許ルス限リ
一定ノ年限中遠洋漁業獎勵ノ爲メ國庫ヨリ相當ノ補助金ヲ支出セラレンコ
トヲ切望ス因テ茲ニ之ヲ建議ス

明治二十九年三月 日

〔村田保君演壇ニ登ル〕

○村田保君 此水産業保護ニ關シマスル建議ハ既ニ第三回議會ノ時分ニ本院
ヨリ提出ニナリマシテ政府ニ廻テ居リマスガ其後議會ノ解散ヤラ又日清戰
争ノタメニ今日マデ立消ニナツテ居リマス、故ニ即チ今日之ヲ提出致シマシ
タ所以デアリマス、ソレデ本邦ノ水産物ニ富ンデ居リマスコトハ實ニ世界各
國デ其比ヲ見ナイコトハ實ニ信シテ疑ハナイデアリマス、然ルニ此本邦漁
業ノ有様ヲ見マスルニ、一言シテ申シマスルト云フト先ツ魚類ガ沿海ニ近寄
ルノヲ待ツテ居テ捕ルト云フ漁法デゴザイマシテ、遠洋大海ヘ出マシテ魚族ヲ
探テ捕ルト云フヤウナ漁法デハナイノデス、ソレ故日本ノ漁村ノ多クノ有
様ト申シマスルモノハ年々人口ガ殖エテ參リマシテ漁場ハ段々狹クナツテ來
ル、從テ濫獲酷漁ト云フ弊ガ起テ參リマスシ、段々此漁村ガ貧困ニ傾クト
云フ有様ニナツテ居ル、然ルニ外國人ガ万里ノ波濤ヲ冒シマシテ年々日本近
海ニ參リマシテ實ニ容易ナラヌ收穫ヲ得テ居リマス、之ヲ揭ゲテ申上ゲマス
レバ日本千島ニ居リマス臘虎ト云フモノハ今日一枚デモ其皮ト申シマス
ト千七百圓モシマス、其臘虎ト申シマスモノモ是マデ外國人ノ手ニ取ラレ
テ居ルモノガ凡ソ五千萬圓以上ニ達シテ居ルト云フコトヲ承テ居リマス、
實ニ容易ナラヌモノヲ捕ラレテ居リマス、ソレ故從前千島諸島ニ臘虎ハ居リ
マシタ様子デゴザイマスガ近年ハ殆ド臘虎ハ跡ヲ絶ツヤウナ有様デゴザイ
マス、又捕鯨デゴザイマスガ、從前ハ脊美鯨ト云フモノハ澤山有リマシタ、大
キナ鯨デゴザイマス今日捕レマスト一頭デ一万圓以上ニナリマス、其脊美
鯨ト云フモノモ段々外國人ニ捕ラレマシタ、多イ年ニハ一年ニ數十頭モ捕ラ
レタト云フコトデゴザイマス、ソレ故今日ハ此脊美鯨ト云フモノハ沖合デ捕
ラレマシタ故ナカク沿岸杯ニハ參リマセヌ故殆ド脊美鯨ト申スモノハ日本
デハ跡ヲ絶ツタト云フ位ニ減ツテ參リマシタ、ソレカラ鯨デゴザイマス、鯨
杯モ隨分日本ノ北海ハ世界三箇所ノ一ト云フ位ノ場所デゴザイマスガ是モ年
年數艘ノ船ヲ持テ參ッテ實ニ滿載シテ歸ルト云フヤウナ譯デアリマス、又
近來鯨業ニモ著手シテ居ルトノコトデス、或ハ近年盛ニアチラカラ日本ヘ捕
リニ參リマスノハ臘鰐獸獵デゴザイマス、此臘鰐獸獵ト申スモノハ年々五六
十艘ノ船ヲ持テ參リマシテ、昨年ハ不漁ノ様子デゴザイマシタガ一昨年マ
デハ金額ニ積リマシテ百万圓内外ノモノヲ持テ行キマシタト云フヤウナ

有様デゴザイマス、臘鰐獸獵杯モ追々此有様デハ減ララウト思ヒマス、又近
年最モ近ク始メマシタモノハ鯨魚デアリマス、既ニ昨年ハ此鯨ノ鯨六千斤
程又當年モ數千斤程神戸ノ支那商ニ賣拂ヒマシタ、年々斯ノ如ク日本ノ富ト
云フモノヲ外人ニ持ッテ行カレルト云フ有様ニナツテ日本ノ漁業者ハ唯ソレ
ヲ見テ涎ヲ垂スト云フノミデゴザイマス、實ニ慨歎ノ至ニ堪ヘヌ譯デアリ
マス、ソレデ是等ノ漁業ヲ致ス者ハ何レ一大會社ノヤウナモノヲ設ケルトカ
大キナ組合ノヤウナモノヲ設ケマシテ政府カラ補助シテ獎勵ヲシナクテハナ
ルマイト存シマス、然ル所今日日本ニ於キマシテ水産業ノ會社ニ如何ナル
モノガ有ルカト申シマスト殆ド無イト言ッテモ宜イ位ナ譯デアリマス、唯
北海道ニ帝國水産會社ト云フモノガゴザイマスガ是ハ昨年會社ガ自ラ始メテ
臘鰐獸獵ヲシマシテ二千頭餘リ捕リマシタ、併シ此會社ノ資本ハ僅カ十萬圓
餘許リデゴザイマシテ、連モ船ヲ多ク造ッテ大ナル漁業ヲスルト云フトハ
到底今日ノ資本デハ出來ナイ、此會社モ政府ガ補助ヲ致シマシテ資本ヲ多ク
募ッタラ大キナ働モ出來マセウガ今日ノ有様デ置イタナラバ連モ發達スル譯
ニハ參ルマイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、又往昔ハ捕鯨會社ト云フモノガ隨分
有リマシタガ先刻述べマシタ如ク脊美鯨ハ段々無クナリマシタカラ捕鯨會社
ハ段々倒レマシタ、併ナガラマダ日本ニハ座頭鯨トカ抹香鯨トカ或ハ鯨鯨ト
カ小鯨トカ長鬚鯨トカ云フヤウナモノガ澤山居リマスガ是等ヲ今日ノ有様デ
ハ多ク捕ッテ居ラヌ地方ガ多イ、或ル地方デハ段々捕ッテ居リマスガ日本海
ニ於キマシテハ山口縣位ナモノデ其他ハマダ昔カラ捕鯨ヲシタコトガナイト
云フ所ガ段々ゴザイマス、ソレデ將來捕鯨會社ト云フモノハ極メテ望ガアル
ダラウト思ヒマスガ、マダ一大捕鯨會社ハ無イ、日本捕鯨會社ト云フノガ有リ
マスガ名バカリデ其實ハ何モ無イ、是等モ或ハ政府デ補助デモ致シマシタナ
ラバ會社ガ成立ツコトガ出來ルカモ知リマセヌガ今日ハ殆ド半分潰レテ居ル
形デゴザイマス、又昆布モ隨分日本海產物デハ一大產物デアアルガ段々支那人
ニ買占メラレテ段々ニ職ラレテ居タ、甚シク安買セラレタ時ハ百石九十圓位
ニナリマシテツコデ北海道ニ昆布會社ガ出來マシテ昆布ヲ採リマスル者カラ
一手ニ昆布會社ガ引受ケテ直輸出ヲ致シマシタ、初ノ中ハ大變ニ利益ガアリ
マシテ配當モ一割八分位マデニシタコトガアリマス、然ル所ガ是モ支那人ノ
競争ノタメニ會社ガ四百四十圓以上デ買ッテ居タノニ段々支那人ガ其上ヲ買
上ゲテ競争スルコトニナリ、今日ハ昆布會社モ回復ガ出來ナイヤウニナリマ
シタ、是杯モ政府カラ幾分カ補助デモ致シマシタナラバ折角出來タ昆布會社
モ潰レルト云フ事ハアルマイト思ヒマス、ソレデ外國ノ有様ハドウカト云フ
ト外國政府デ漁業上ドウ云フ事ヲシテ居ルカト略々調ベテ見マスト外國デハ
漁業上ニハ政府ガ大概保護ヲ與ヘテ居リマス、陸産ニハ保護ヲ與ヘヌデモ特

ニ水産業ノタメニハ段々保護ヲ與ヘテ居リマス、亞米利加デハドノ位ノ補助ヲ與ヘテ居ルカト調ベテ見マスト亞米利加デハ千八百七十一年カラ千八百八十五年マデ十五箇年ノ間、國庫カラ補助シテ金額ハ百六十七萬九千四百十五弗一箇年平均十一萬九千九百六十一弗ノ補助ニ當リマス、又獨逸デハ千八百八十七年以來年々二十萬キタル補助ヲシテ居リマス、尤モ獨逸杯ハ海岸ノ極ク少イ國デゴザイマスガ陸産ニハ補助ヲ與ヘヌデ水産業ニハ斯ノ如ク補助シテ居ル、又英吉利杯モ其通デ餘リ民間ノ事業ニ補助ヲシテ居ラヌガ年々二十萬カラ三十萬ノ補助ヲシテ居ル、又佛蘭西杯デハ毎年二三百萬キタル補助ヲシテ居ル有様デアリマス、亞米利加杯ノ漁業ノ進歩ノ著シキコトハ實ニ驚キマシタ、一千八百七十年ノ統計ヲ見マスルト亞米利加デ漁獲ノ上リマシタ高ト云フモノハ千八百八十一年ニハ四千四百五十四萬六千弗トナツテ居リマス、又最近ノ調ベデハ七千萬弗以上ニナツテ居ルヤウナ譯デゴザイマス殊ニ加拿陀地方ノ水産上ノ收穫ガ著シク進ミマシタノハ實ニ驚キ入ルノミナラズ人ヲシテ疑ハシメル位デアル、加拿陀ハ二十年前ニハ漸ク三萬弗位デゴザイマシタガ二十年以後ノ收穫ハ三百五十萬弗ニナツテ居ルノデ殆ド百倍殖エテ居ルト云フヤウナ有様デス、斯ノ如ク追々漁獲ノ殖エルノハ畢竟是ハ政府ガ補助ヲシテ居ルカラノコトデハナイカト思ヒマス、日本ニ於キマシテハ實ニ此世界無比ノ水産國デゴザイマスケレドモドウモ此漁業ノ發達ヲ見テラセメスト云フコトハ畢竟ドウモ政府ガ是マデ一モ水産上ニ補助ヲ與ヘタ事ガ無イツレガ一ツノ原因ダラウト存ジマス、ソレデ本員ノ願ヒマスル事ハドウゾ年々政府カラ十萬圓位ヅツ十五箇年モ繼續費トシテ適當ナル會社トカ組合等ヘ補助ヲ致シマシテ政府モ固ヨリ是ニハ監督ヲシテ、サウシテ此漁船漁具ヲ改良サセマシテ遠洋大海ノ漁業ヲ獎勵スル事ニ爲リマシタナラバ一ハ外國人ノ侵漁ヲ防ギ一ハ大イナル國家ノ財源ヲ増スコト、信ジマスカラ即チ本員ガ此案ヲ提出致シマシタ所以デゴザイマス

○田中芳男君 本案ハ水産ニ最モ熱心ナル所ノ方ノ御提出デゴザイマスカラシテ勿論本員モ贊成ヲ致シマスル積デゴザイマスガ併シ此贊成者ノ中ニ本員ガ有リマセナシタノハ過日暫ク事故ノタメニ出マセナシタガ故ニ遂ニ此案ノ贊成者ノ中ニ列セマセヌデゴザイマシタ、唯今提出者カラ續々御述ベニナリマシタガ本員ハ之ニ蛇足ヲ添ヘル程デモゴザイマセヌケレドモ併シ幾分カ尙ホ此事ガ行ハレタナラバ我國ニ都合ノ宜イ事アラウト本員ハ考ヘマス、其考ヘマスルノハ唯今提出者ガ喋々述ベラレタ事ノ外ニ此事業ガ起リマシタナラバ沿海ノ防禦ト云フモノガ、冥々ニ此船ガ澤山出來マシタナラバ防禦ガ出來ラウト考ヘマス、何トナレバ遠洋漁業ニ……成リタケ航海獎勵費ノ如キモノヲ政府ガ資金ヲ與フルヤウニナレバ十分遠洋漁業ガ出來ル、遠洋漁業

ガ出來レバ即チ我國ノ沿海防禦ガ出來ルト云フ形ニ爲ラウト考ヘマスル、又サウ云フ遠洋漁業ヲ開キマスレバ所謂航海上ノ事ニ熟シタ人間ガ澤山出來ヤウト考ヘマス、然ラバ則チ自然ニ水兵ヲ養成シタ形ニモ爲ルカラシテ此案ニハモウ一ツ冥々ニ效ガアラウト本員ハ考ヘマス、是本員ガ之ニ蛇足ヲ附ケテ申シマスル所以デアル、且ツ又唯今提出者カラシテ諸會社組合等ヘ十分ナル補助ヲ與ヘテ遣ッタル十分デアラウト云フ御意見モアリマシタガ此御意見ハ此文章デハハッ切リ致シマセヌケレドモ併シ會社ヘ補助金ヲ與ヘル事ニナレバ自ラ唯今提出者ノ希望セラレタ所ニ落ルカモ知レマセヌガ此案ヲ見マスルト遠洋漁業ヲ獎勵スルコトガ最モ目的ノヤウニ見エマシテ其會社ノ營業上ノ裡マデ立入ッテ世話スルトハ見エヌケレドモ、勿論唯今提出者ノ述ベラレタル諸會社ヘ補助スル等ノ事ハ最モ同意スルノデゴザイマスルガ唯此提出案ノ文章デハ其事ガ見エマセヌカラシテ、ソレハ聊カ遺憾ニ思ヒマスガ併シ此案ガ當院ヲ經過致シマシタ曉ニハ政府ノ御見込ヲ以テ十分其邊マデ御注意ニナルコト、考ヘマスルカラシテ本員ハ此案ヲ贊成致シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 他ニ御發言ガ無ケレバ決ヲ採リマス、本建議案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、一應諸君ニ御諮リヲ致シマスガ最早會期切迫ノ今日デゴザイマスカラ今朝報告ニ及ビマシタル船舶職員法案ガ衆議院ヨリ修正ノ上デ廻付シテ參ッテ居リマス、是ハ至ッテ簡單ナモノデモゴザイマスルシ此所ニ於テ衆議院ノ修正ニ同意スルヤ否ヤノ會議ヲ議事日程ヲ變更シテ開キタイト思フノデ……

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

別ニ御異議ガナイト存ジマスニ依ッテ然ラバ議事日程ヲ變更追加致シマシテ船舶職員法案衆議院ノ修正ヲ會議ニ付シマス朗讀ヲ致サセマス

(有賀書記官朗讀)

船舶職員法案

右貴院ノ送付ニ關ル政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十五條ニ依リ及回付候也

明治二十九年三月十八日

衆議院議長楠本正隆

船舶職員法案

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

船及沿海航船ニシテ登簿噸數二百噸以上ノ汽船ニハ此ノ法律施行ノ日ヨリ一箇年ヲ限リ二等機關士ノ免狀ヲ有スル者ニ機關長ノ職ヲ執ラシメ又一等機關士ヲ乘組マシメサルコトヲ得

○箕作麟祥君 唯今朝讀ニナリマシタ船舶職員法案ハ即チ原案ヲ此貴族院ノ特別委員會デ修正シマシタ上更ニ一箇條ヲ衆議院デ挿入シタモノト考ヘマスガ唯三案ノ中デ船舶職員法案ノミニ衆議院ガ修正ヲ加ヘテ其他ノ議案ハ當院ノ廻ハシタ通、唯今朝讀ニナリマシタ所ヲ考ヘテ見マスルノニ是ガ永久唯今ノヤウナコトニ致シタナラ或ハ原案ノ精神ヲ害スル恐ガアルカモ知レマセヌガ本年一年限リデ一時ノ事デアリマスカラ此法案ガ實施ニナリマシテ急激ニ此表ノ通ニ爲リマスト或ハ其小サイ船ニナリマス云フト俄ニ其表ノ通ニ此機關士ト云フモノヲ是マデ用ヒテ居ラヌマデ用ヒネバナラヌト云フ事ニ爲リマスト大ニ機關士ノ人員缺乏ノタメニ實ニ困ル事ガアラウト考ヘマスデ一時ノ事デアリマスカラシテ其一時ノ急ヲ救フタメニ唯今移リ變リノ時ニ當ッテ之ヲ救フ法ヲ設ケルト云フコトハ隨分宜シイ事デアッテ決シテ其原案ノ精神竝ニ本院ノ修正シタ精神ヲ害スルモノデナイト思ヒマスカラドウゾ唯今ノ一條挿入ト云フ衆議院案ニ諸君モ御同意アラントヲ希望致スノデゴザイマス

(國務大臣白根專一君演壇ニ登ル)

○國務大臣(白根專一君) 唯今問題ニ爲ッテ居リマスル衆議院ノ修正ハ實施上ニ於テ別段差障リナイモノト私モ認メマスカラドウカ茲ニ御確定アラントヲ偏ニ希望致シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 他ニ御發言ガ無ケレバ決ヲ採リマス、衆議院ノ修正ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ今一ツ今朝御報告シマシタ中ノ議案ガゴザイマスガ、是モ會期切迫デゴザイマスニ依ッテ議事日程ヲ變更追加シテ第一讀會ヲ開キタイト存ジマス、ツレハ馬匹ノ調査及檢査ニ關スル法律案、此第一讀會ヲ開キタイト存ズルノデ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○田中芳男君 始終案ガ廻ッテ居ルヤウニ御報告デアリマスガ一向受取リマセヌガ、ドコヘ這入ッテ居リマスカ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 先刻文書函ヘ投入シテアル答デゴザイマス、議事日程ヲ變更スルニ就イテハ別ニ御異議ハナイト認メマス依ッテ是ヨリ馬匹ノ調査及檢査ニ關スル法律案第一讀會ヲ開キマス、朗讀ヲ致サセマス

(有賀書記官朗讀)

馬匹ノ調査及檢査ニ關スル法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治二十九年三月十八日
衆議院議長楠本正隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

馬匹ノ調査及檢査ニ關スル法律案

第一條 戰時若クハ事變ノ際軍馬ノ補給ヲ確實ナラシムル爲メ馬匹ノ調査及檢査ヲ行フ

第二條 馬匹ノ調査ハ島司郡市町村長之ヲ行ヒ其ノ檢査ハ陸軍官憲之ヲ行フ但檢査ハ一年一回ヲ超ユルコトナシ

第三條 馬匹ノ所有者ハ馬匹ノ調査ニ必要ナル事項ヲ届出ヘシ

第四條 馬匹ノ所有者ハ指定ノ檢査場ニ於テ馬匹ノ檢査ヲ受クヘシ

馬匹ノ檢査ヲ受ケタル馬匹所有者ニハ手當及旅費ヲ給ス

第五條 徵發令ニ依リ徵發ノ免除ヲ受クヘキ馬匹ニハ此ノ法律ヲ適用セス

第六條 馬匹ノ調査及檢査ヲ行フヘキ區域時期馬匹ノ種類第三條ノ届出事項及第四條ノ手當旅費ノ金額ニ關スル規程竝ニ此ノ法律施行ノ爲メ必要ナル規程ハ陸軍大臣之ヲ定ム

附則
第七條 東京市京都市大阪市ニ於テハ此ノ法律ニ規定シタル市長ノ職務ハ區長之ヲ行フ

市制町村制ヲ施行セサル地方ニ於テハ此ノ法律ニ規定シタル市町村長ノ職務ハ區長戸長又ハ之ニ準スヘキ者之ヲ行フ

第八條 此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

○子爵津輕承敘君 定足數ニ滿チテ居リマセウカ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今取調ベマス

(政府委員寺内正毅君演壇ニ登ル)

○政府委員(寺内正毅君) 唯今提出ニ相成リマシタ所ノ此馬匹ノ調査及檢査ノ法律案デゴザイマス、是ハ誠ニ短簡ナ法律案デゴザイマス、一口摘シテ理由ヲ申シマスレバ馬ノ戰時ニ充足スベキモノヲ平時ニ於テ調査シテ置キマシテ其調査ノ結果ニ依ッテ徵發シテ使用レマセウト云フ目的ニ外ナリマセヌ譯デアリマス、總テ此事ニ就キマシテハ此物件ノ徵發、物件ノ調ト云フコトガゴザイマシテ、從來ハ其物件表ニ依ッテ其地方ノ馬ガ幾ラ有ルト云フコトヲ概略承知シテ徵發ヲ致シマシタノデアリマス、一昨年來ノ實驗ニ徴シマスルト、平時ニ於テ正確ナ調査ヲシテ置キマセヌケレバ、咄嗟ノ間ニ於テ健康

ナ馬ヲ徵發シテ使用スルコトガ出來スト云フコトヲ證據立テマシタ、故ニ今
廻此法律案ヲ提出シタ譯デアリマス、御調査ノ上ニ御協賛アラシコトヲ希望
致シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リ
マス

○子爵本莊壽巨君 特別審査委員ハ九名トシテ議長ニ於テ選定アラシコトヲ
希望致シマス

○子爵小笠原壽長君 贊成

○男爵西五辻文仲君 贊成

○飯淵七三郎君 贊成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 委員ノ選定ヲ議長ニ託スルト云フ本莊子爵ノ動
議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、裁判所ノ設立及位置並管轄
區域ノ變更ニ關スル法律案、特別委員會ニ於キマシテ委員長ニ公爵徳川家達
君、副委員長ニ兒島惟謙君當選ニ相成リマシテゴザイマス、先刻來議長ニ選
定ヲ御依託ニナリマシタル特別委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

(中根書記官長朗讀)

銀行合併法案特別委員

公爵二條基弘君

子爵青山幸宜君

津田眞道君

湯地定基君

外山正一君

長谷川貞雄君

武井守正君

平山成信君

中村雅眞君

移民保護法案特別委員

侯爵細川護成君

伯爵上杉茂憲君

子爵山内豐誠君

子爵相良頼紹君

野村素介君

宮本小一君

中村博愛君

菊池大麓君

關田可通君

静岡縣下郡廢置法律案外二件特別委員

子爵鍋島直彬君

子爵竹内惟忠君

子爵秋田映季君

永山盛輝君

男爵中川興長君

沖守固君

宮崎總五君

村上桂策君

渡邊甚吉君

馬匹調査及檢査ニ關スル法律案特別委員

侯爵佐竹義生君

伯爵清棲家教君

子爵一柳末德君

子爵久留島通簡君

中島信行君

寺島秋介君

村田經芳君

田中芳男君

小林小太郎君

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 昨今ハ澤山委員會ガゴザイマシテ本會ヲ開クガ

タメニ委員ノ妨害ニ爲ルヤウナコトモアリマスノデソレ故ニ明後二十一日ハ
別段急グ議案モゴザイマセヌカラ本會議ハ休ミマシテ委員會ノ方ヲ精々諸君
ニ於テ御勉強ニナルヤウニ致シタイト思ヒマス、ソレ故ニ次ノ議事日程ハ
逐ッテ御報告ニ及ビマス本日ハ散會

午後零時二十一分散會